川越市政だより

NO183　月1回10日発行1部2円　発行所　埼玉県川越市役所　（昭和32年8月15日第三種郵便物認可）　新文印刷社印刷

広報ガイド

12月のメモ

▽歳末たすけあい運動
▽年賀郵便特別扱い開始（十五日から）
▽冬至（二十二日）
▽クリスマス（二十五日）
▽官庁公仕事納め（二十八日）

1月のメモ

▽元旦（一日）喜多院初大師（三日まで）
▽初荷（二日）
▽喜多院だるま市（三日）
▽官公庁仕事はじめ（四日）
▽川越東松山間往復駅伝競走（十日）

人口のうごき

11月1日現在

人口	127746
男	63795
女	63951
世帯数	29,157
出生（10月中）	240
死亡（10月中）	64
前月比	415人増

歳末たすけあい

親切で美しい心を育てよう

……助けあい袋は二十日までに

○……何かとせわしい十二月ですが、一日から「歳末たすけあい運動」が全国……○
○……的に行なわれています。この運動は〃善意〃の国民運動として毎年活発……○
○……に行なわれてきていますが、ことしも歳末をむかえ、恵まれない多くの……○
○……人々に、みなさんの温かい援護の手をさしのべていただきたいものです……○

この運動は、近隣同志がお互いに助けあっていこうという精神から、自然発生の形で県下一円にひろがってきたものですが、いまでは市町村社会福祉協議会を中心とする県民運動として行なっています。一方、昭和四十二年には、埼玉国体が開かれますが、国体を迎えるにあたっての県民運動として展開されている〃親切にする運動〃にもつながるもので、この運動を機会として、さらに県民お互いが温かい心で接しあい、助けあう心を育てようという、大きい目的もあるわけです。

また一方、このたすけあい運動を通じて、それぞれの地域内の関係組織団体ならびに、一般住民の〃社会福祉〃に対する理解と認識を高めていただくとともに、援護を必要とする世帯等を対象とする地域社会の協力態勢が、具体的に確立されるよう努力しようというものです。

市では、十二月二十日までを運動期間として、みなさんのご協力をお願いしていますが、おくばりいたしました「歳末たすけあい袋」が、師走（しわす）の風を冷たく感じながら生活している方々にとって力強い愛の手でありますので、昨年にも増したご協力をお願いいたします。

【写真は助けあい金品の受付】

規則正しい生活を

◇……放任がちな冬休み

十二月二十五日から、各学校は冬休みにはいります。冬休みは、期間としては長い休みではありませんが、年末年始という特殊な時期にまたがっていますですから冬休みの子どもの生活には、いろいろ指導するとともに注意しなければならないことがあります。

そこでつぎのことについて、みんなで注意し、冬休みを子どもにとっても、家族にとってもたのしいものにしたいものです

① 冬休みは、まず第一に規則正しい生活をするようにし、毎日の生活に区切りをつけることです。期間が短かく、みんな忙しいときですから、一日でできることは、その日のうちに終わらせるように指導したいものです。

② 勉強は小学校、中学校、高等学校の段階で違いがありますが学校からだされた宿題は完全に終わらせるようにしましょう。また、入学試験を受ける子どもをもつ家庭も多いでしょう。

年末年始はとかく家庭内がそうぞうしいものですから、それだけに受験勉強をしている子どもには、家族のものがおちついて勉強できるふん囲気をつくってやることが大切です。

③ 家事手伝いですが、忙しいときには、できるだけ子どもに手伝いの機会を与えることです。そうしますと、子どもが引き受けた仕事は責任をもってやるようになり、教育的にプラスになります。

④ 青少年の非行は、冬休みに限られた問題ではありませんが、さいきん、青少年問題は増加しています。

青少年の非行防止は、なんといっても家族のものが、子どもの行動に深い関心をもつことが第一です。

そこで、子どもが外出するときは、その行き先きとか、帰宅時間をはっきりさせ、必要なときは親が同伴するようにしましょう。さらに、親は子どもの交友関係もよく知っておく必要があります。

年末年始は、忙しかったり気がゆるんだりする時期です忙しいからといっても、子どもを放任しておかないで、あたたかい心で指導して行きたいものです。

国民年金から

あなたに、明るい将来を約束する国民年金のかけ金はおすみですか。

今月は、十、十一及び十二月の三か月分です。

そのほか、今年中にお忘れになっている月の分も一緒に納付書を送りました。

あわただしい年の暮ですが、一年間のしめくくりの時期でもあります。かけ金をすませて、さっぱりした気分で新しい年を迎えましょう。

【出張窓口の日割】

○十二月十三日＝岸町坂下（器具質場）、菅原町公民館。
○十四日＝新宿町公民館（雀ノ森）、西小仙波町二丁目町内会長宅（日進工業）。
○十五日＝熊野神社（連雀町）、新富町会館。
○十六日＝野田神社、仙波町公民館。
○十七日＝田面沢農協。

▽時間はいずれも午前九時三十分～午後三時三十分まで

なお、右の場所以外は、市役所年金課、各出張所、市内の市税取扱い金融機関でも取扱っています

年金の加入は二十才から

ことし中に二十才になった方はその月から国民年金に加入しなければなりません。

ただし、会社や官庁へ勤務し、厚生年金、共済年金等、公的年金に加入された方を除きます。また学生（昼間）は現在のところ任意加入になっています。

該当される方は、至急市役所年金課または各出張所へ印鑑持参で加入の手続きをされるようお知らせいたします。

また来年早々二十才になる方も早めに申し込んでください。

もう一度交通規則の確認

年末年始の事故防止に

まちに流れるジングルベルとともに、人も車もあわただしさを増す師走（しわす）になりました。お互いのちょっとした不注意が恐ろしい交通事故のもとになるものです。

そこで、今月は、わかりきったことですが、一般的な交通道徳について、もう一度確認してみましょう。

交通事故の大半は、次の約束を守らないことが原因になっています。

○…右側通行を励行している。
○…道路を横断するときは左右を確め必ず横断歩道を渡っている。
○…信号を厳守している。
○…幼児の一人歩きをさせない。
○…車のすぐ前やすぐ後ろの横断はしない。
○…自転車の悪い乗り方はしていない。
○…道路では遊ばせない。
○…踏切での注意は十分している

▽店先へ自動車、自転車をとめたり、商品をならべる場合、道路を狭めて、交通のさまたげにならないように心がけたいものです。

▽これから酒の機会が多くなると思いますが、飲酒した場合は絶対に自動車を運転しないようにしましょう。

これだけは、ぜひ守って、明るく健康で新年を迎えたいものです。

年末年始窓口事務

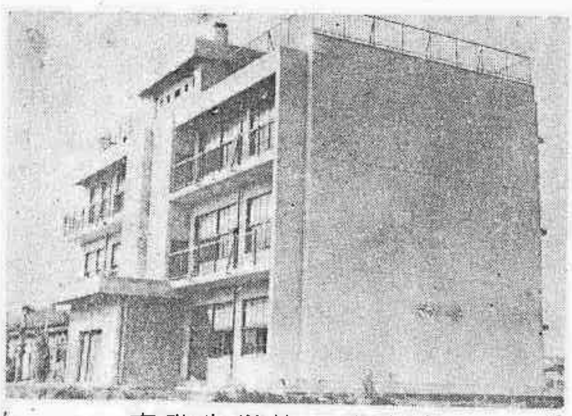
十二月二十八日で一般事務は「仕事おさめ」になりますが、市民のみなさんに関係深い市民課、国保課、清掃課では、次のとおり仕事を行ないます。

▼市民課、国保課
三十日まで（午前九時～午後四時）簡易な窓口事務

▼清掃課（市直営作業）
▽じんかい収集
○火金曜日収集地区＝二十八日まで。収集開始は一月四日。
○水土曜日収集地区＝二十九日まで。収集開始は一月五日。
○月木曜日収集地区＝三十日まで。収集開始は一月六日。
▽し尿くみ取り
三十日正午まで。開始一月四日
▽窓口事務
二十九日午後四時三十分まで。

▼公益質屋
二十八日～三十日＝午後九時まで。三十一日＝午前零時まで。

▼火葬場
三十一日まで。作業開始は三日



高階小増築工事完成
生徒増加がいちぢるしく，教室不足となっていた高階小学校に，鉄筋コンクリート3階建の校舎が増築（第1期）されました。延面積750平方メートル6教室で，5年生と6年生が入りました。総工費1，632万円でした。

臨時警備員募集

市内小、中学校の夜間警備員を（約十名）募集いたします。ご希望の方は教育委員会へ履歴書をご持参ください。

▽採用期間＝十二月下旬から三月三十一日まで。
▽細部については、面談の上決定いたします。
▼教育委員会事務局総務課庶務係（第一小学校校庭内）

国保税第三期分の納期

都合により延期されていた、国保税第三期分は、納税通知書を一月下旬、被保険者のみなさまのお手もとへお届けする見込ですので納税について、特にご協力くださるようお願いいたします。

成人式のご案内

□………1月15日…………市民会館で

一月十五日には、市内の成人者をお迎えして成人式を行ないます。

該当者へのご案内は今年中にお届けいたしますが、調査洩れなどで届かない場合は、本庁管内は中央公民館へ、出張所管内は地区公民館へご連絡ください。

▽式場＝市民会館ホール
▽受付＝午前九時から十時
▽該当者＝昭和二十年四月二日から二十一年四月一日までに生まれた方で市内居住者。

◎市民会館はゲタの場合は、スリッパにはきかえていただきますので、あらかじめご承知ください。

明るく正しい……選挙シリーズ

一、ねずみの会議

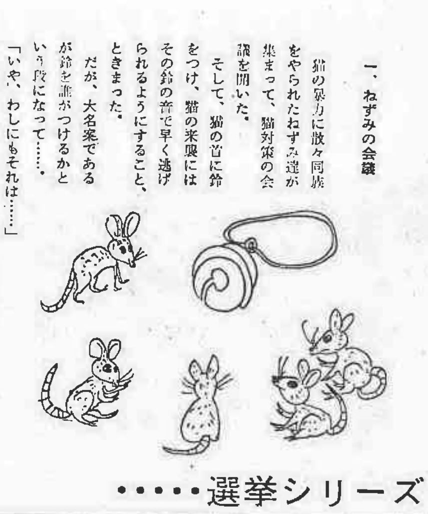
猫の暴力に散々同族をやられたねずみ達が集まって、猫対策の会議を開いた。

そして、猫の来襲には猫の首に鈴をつけ、その鈴の音で早く逃げられるようにすること、ときまった。

だが、大名案であるが鈴を誰がつけるかという段になって……

「いや、わしにもそれは……」

「いや、わたしにはむかない……」とか、みんなが、みんな、しりごみしてしまい、なすこともなく散会してしまった。



これは、どんな名案でも、みんなに、実行する勇気が欠けていては、何にもならないというたとえ話です。

勇気を持って実行することこそが、明るい社会への道だと云えましょう。

家庭と社会を基盤に
成果あげる青少年育成活動

第2回青少年育成大会から

未来をになう青少年の健やかな成長は、子をもつ親の共通の願いであり、社会の限りない期待でもあります。この大きな使命をになって、川越市に青少年保護育成組織が確立して八年目を迎え、ようやくその成果があらわれてきましたが、この問題解決にはまだまだ多くの課題が残されています。

★十一月二十五日には第二回の川越市青少年健全育成推進大会が市民会館で開かれ、青少年問題協議会委員をはじめ各地区の青少年を守る会指導委員、青少年問題福祉会委員、青少年相談員、勤労少年補導連絡会委員等多数が集り、優良団体や、功労のあった個人、善行青少年の表彰式、また三つの団体の活動と経験発表があり青少年の幸福と健全な育成のため、熱心に研究しました。そこで三人の経験発表の特集をしてみました。

…▽…△…

【主催＝川越市青少年問題協議会、青少年を守る会本部。後援＝教育委員会、警察署、埼玉県】

まず妊婦の健康から
宮下町二丁目母子愛育会

昭和三十七年町ぐるみ活動体として全家庭の婦人を会員とし妊婦から始まって、青少年の育成、子供会の助長育成、婦人活動などあますことなく、和やかに運営していくため、とくに配慮して会の構成を、保健部、育成部、文化部の三部制を設置いたしました。

運営の組織は各部にそれぞれ部長副部長、役員十九名を配していますが、特色としては町内会、青少年を守る会を背景とし、役員は青少年指導委員も兼ね、同時に町内会、青少年を守る会の内容及び協力体制などが短時間でできる仕組となっています。

保健部ではその都度市の保健婦さんの協力を願い、妊婦、新生児乳児に対する毎月一回定期に検診を行ない、同時に種々の健康管理の指導につとめています。そして検診の際カードの記載をして発育状態の詳細を月日比較するなど病気、発育障害等の早期発見と処置に対する相談など保健婦の世話になって大変役立たせています。なお、毎月家庭訪問してカードに所要事項の記入をし、生後一カ年間保健部に見守られて健かに育ってくれた乳児を、もう幼児としてそのバトンを育成部にお渡しします。

育成部では幼稚部、小中学校生徒の児童生徒会のほか青少年の健全育成、不良化防止、保護育成を担任しますが、青少年指導委員および学校との連絡委員の母親を交えて毎月小中学生の話しあいの集りをもち、その意見のまとまりを基本として休暇中の指導方針等をきめるとか、お楽しみ会、各種運動競技会、写生会、遠足、読書会など愛情こまやかな諸行事を展開して、個人個人の育成と社会連帯性をやしない、学校と家庭と地域社会の結びつきに心を配っています。

文化部はこのような育成部の行事に呼応して協力するほか親子旅行会、敬老会、料理栄養の講習会と赤十字、共同募金、助け合い運動等社会福祉の面に巾広い協力活動を活発に展開しています。

このようにして発足以来四年を数え、和やかななかに充実してきました。この間に何んでも会にもちより話し合って、他人の子供と愛情で融け合う美しい自治できる地域社会に育ち、まったく互いに気がとけあい、結びつきの基本となる活動体となってくれました。（宮下町二丁目母子愛育会会長、岸野博子さんの発表より）

町ぐるみの活動が実る
西小仙波町二丁目青少年を守る会

昭和三十五年、町ぐるみの活動体とするため、PTA、婦人会、子供会、町内会、などの代表者が役員となり、西小仙波町青少年を守る会が発足しました。この会が最も力をいれたのは愛のパトロール運動で春、夏、年末など指導委員を中心に全家庭が毎夜交替で夜九時から町内を巡回し、日誌にはその日の状況や感想を記入し後日の反省資料にしています。

この結果青少年の夜遊び（夜間外出）がなくなり、また暗いところに防犯灯を設置したり、雑草地を整備して、よい環境ができつつあると報告しています。

これによって関心が高まり昨年は約二五〇坪のめぐみ児童遊園地を設置することができました。

このほか小、中学生との懇談会でお互いの理解を深めるとか、子供映画大会、レクリェーション、話し合い活動、フィルムホーラムなど青少年の豊かな心を養う巾広い活動により青少年に大きなよりどころを与えました。

このように総合的な活動で成果を収めたのは町ぐるみの確立と指導委員一人一人の熱意のたまものといえましょう。（西小仙波町二丁目会長、堀内末吉さんの発表より）

成人教育講座に重点
大東地区青少年を守る会

川越狭山工業住宅団地の進出により、生活的にも社会的にも一大転期にある大東地区は、昭和三十九年より特別研究の指定地区となり、具体的な課題をとり上げつつ家庭教育面での青少年問題ととり組んできました。

まず昭和三十九年度は、明るい社会の環境づくり、明るい茶の間づくりの二つの目標にそい、水難防止のための水泳危険区域の調査と標識立て、愛のパトロール、盆踊りのパトロール、映画会、座談会成人教育研究集会、アンケートなど実践的な活動に力をいれました

昭和四十年度に入っては、これらの基盤の上に立って家庭教育的役割を考えました。主な活動では子供会の育成リーダー研修会、遊園地の建設（山城、大袋、大袋新田の三カ所に設置）、成人教育集会、家庭教育学級などです。

これらのうち、最も関心を集めたのは「成人教育集会」でした。研究テーマは、①子供の道徳を家庭面からみて。②どのようにしたら子供を幸せにしてやれるか。③子供の依頼心はどうして生まれるか。という三つを設定し、守る会指導委員、PTA関係者、婦人会婦人学級生など三分科会に分かれて熱心な討議をすすめました。助言者には、教育委員会、青少年を守る会事務局、校長先生、婦人会長など、それぞれ専門的な仕事にある方々にお願いし、いくつかの問題点を話し合い、大いに成果をあげることができました。（大東地区青少年を守る会々長、栗原清三さんの発表より）

守ろうよい子の成長

■……年末年始はこんな態度で

●規律ある生活態度をうえつけましょう。
●2B弾や空気銃など、危険なものを持たせないようにしましょう。
●夜間外出はなるべくしないようにしましょう。
●青少年に有害な本、興行はみせないようにしましょう。
●小づかいは、むだ使いをしないで有効に使うようにしましょう
●子供の火遊びには、特に注意しましょう。
●暴力は、みんなの力で追放しましょう。
●交通事故に注意しましょう。

青少年保護育成の功労者
11団体.37人（個人）を表影

青少年保護育成のため、積極的に努力し、大会で表彰された団体と個人は次のとおりです。

・団体・

宮元町子供会後援会（吉田定雄）．幸町青少年を守る会（加島栄茂）．岸町二丁目青少年を守る会（世田延男）小疲一中会（大沢操平）．南古谷和楽会（山岸孝）．豊田本青少年を守る会（網島忠次郎）．府川地区青少年を守る会（小林明次郎）．吉田青少年を守る会（小島俊男）．大町子供会（内野道子）．第五地区青少年を守る会（新井長治）．大東地区青少年を守る会（栗原清三）

……カッコ内は代表者名。

・個人・

相川光作（宮下町1丁目）．島崎とし子（末広町1丁目）．山根仲（新富町2丁目）．榛原喜太郎（三光町）．江田広典（仙波町3丁目）．増田徳次郎（西小仙波町1丁目）．植木文雄（小室町）．仲田伊三郎（石田本郷）岡田義教．根岸照子（大字久下戸）．永島高議（大字寺尾）．鈴木文夫（大字砂新田）小島敏子（大字大袋新田）．故宮下庫之進（大字山田）．増田空如（大字下小坂）．内田良一（大字笠幡）．高橋俊太郎（仲町）．田村みよ（志多町）．大沢才三郎（末広町3丁目）．内田みな（三光町）．小名木寿江（菅原町）．岩岡久子（西小仙波町2丁目）．中島長次長（野田町1丁目）．松沢米蔵（大字久下戸）．青木信男（大字砂）．川村廉次（大字下赤坂）．小林栄一（大字下広谷）．野口長次郎（大字笠幡）

・善行青少年・

宇津木えり子（大字今福）．山崎しづ江（大字笠幡）．谷合光男（末広町）．石川昭太郎（石原町）．新井浦夫（三光町）．戸住啓治（幸町）．増田幸（幸町）

国調 人口の入選者きまる

十月一日現在で全国一せいに国勢調査が行なわれ、埼玉県企画部統計課が集計した川越市の人口概数は「十二万七一五七人」でした

この五年に一度の国勢調査を記念して、川越市の予想人口の懸賞募集いたしましたところ七十三名の応募者があり、審査の結果次のとおり入選がきまりました。

なお応募規定は「総理府統計局公表の確定人口」により審査するとありましたが、一等は川越市の概数人口と九名のひらきがありますので、総理府の公表をまたずに入選を決定しました。

【入選者】

▽一等＝一二万七一六六人　千合美子（的場二一三四－二四）
▽二等＝一二万七一九四人　小島昇（岸町三丁目十一八）
▽三等＝一二万七二三二人　小島美佐江（上新河岸二十四）、一二万七二四四人　千合尉雄（的場二一三四－二四）、一二万七〇五二人　渡辺美代子（今福二八〇三－一）、一二万六九四四人　渡辺徳二（今福二八〇三－一）。

国体へボクにもできるおてつだい

川越市国体準備委員会

公益質屋

■川越市第二公益質屋
（仙波町2丁目，保健所の南）
■貸付額1世帯3万円まで
■利子月3分
◎ご利用の際は，保険証か免許証と印かんをお持ち下さい。

国体ガイド　国体のはじまり

国体は戦後の昭和二十一年、京都、大阪、奈良を中心として開かれた第一回大会にはじまります。すなわち、戦後の荒廃した国土にうちひしがれた生活をスポーツによって明るい健康なものにするため始められたわけです。

水洗区域ひろがる

十月二十三日から、次の区域が水洗便所の処理ができます。

なお、水洗便所の改造に、市から三万円を無利子で貸し付ける制度があります。返済期間は、毎月一五〇〇円づつの二十カ月払いです。水洗便所で明るい生活を築いてください。

▼仙波町一丁目、一五番地四～七九、以上の一部、一五番地一～三、の全部
▼仙波町二丁目、一四番地三～五一、一五番地五～八、一六番地四、以上の全部
▼仙波町三丁目、一番地一～四の一部
▼仙波町四丁目、三番地三～五の一部、二番地一～三、一〇、以上の全部

交通安全に　宮元町の大野さんが寄附

十一月十日、市内宮元町に住む大野てるさんから、市交通安全推進協議会に「交通安全の一助にしてください」と三千円がおくられてきました。

これは、大野さんの長女尚子さん（二才）が自宅前の道路で自動車に接触、全治十日間のケガをしたことから、親として、子どもの交通事故だけは、何とかなくしたいものと、体験を通じての願いから、見舞金をそのまま推進協議会におくられたものです。

協議会では、事業資金に繰入れて大野さんの願いを実現するよう諸施設を完備したいといっています。

新工場案内
カメラレンズの雄
ノリタ光学株式会社

ノリタ光学株式会社は名細地区下広谷四七七番地に周囲を雑木林に囲まれた美しい環境の中に立っています。

当社は昭和28年に設立され、昭和38年秋に社長車田（のりた）利夫氏が交通、労働力等の立地条件に目をつけて「川越と共に生きる」覚悟を決めて、本社、工場を川越市に建設されたそうです。

資本金三千万円、敷地二二、六七四平方メートル（六、八五九坪）の中に工場、事務所、倉庫社宅、寮、食堂等が整然と建てられ、更に来年一月操業を予定の鉄筋二階建の工場延六六〇平方メートルが建築のつち音を響かせています。

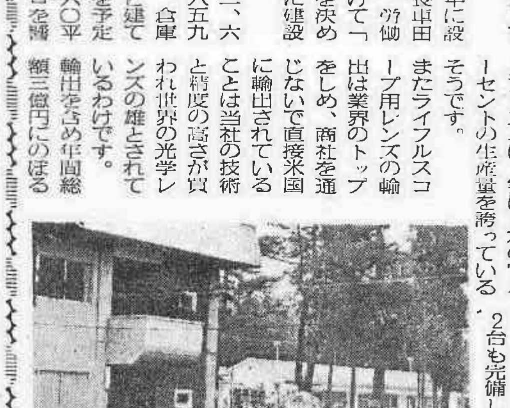
製品はカメラ用レンズですが、世界を風びしている一眼レフレックスカメラに装着させるペンタプリズムは、実に日本の70パーセントの生産量を誇っているそうです。

またライフルスコープ用レンズの輸出は業界のトップをしめ、商社を通じないで直接米国に輸出されていることは当社の技術と精度の高さが買われ世界の光学レンズの雄とされているわけです。

輸出を含め年間総額三億円にのぼる生産を示しています。

四十代の若い社長を中心に一七〇人の従業員はほとんど地元採用で平均年令一九、八才という若さです。

毎週土曜日には洋裁教室が2時間開かれます。会社の前にはグランドを有し野球ソフト等体育にも力を入れ、厚生施設、バス2台も完備しています。



まちをきれいに

市内にくずかごを設置

いま国体事務局では、昭和42年に開催される埼玉国体に備え、環境を美しくする運動の計画を進めています。これはまちをきれいにする「すてない」「こわさない」「よごさない」の三ない運動で、計画は毎月22日を「郷土を美しくする日」として、自分の家のまわりをきれいにしていくことと、みんなの協力で屋外の広告、ビラ、看板の整理等もやろうというものです。これらのムード造りをする手始めとして、市内の人の集る所を重点にくずかごを設置してみました。

みなさんがご存知のとおり、国民体育大会には、全国各地から多数の選手役員、視察員が本市にまいります。清潔な町、美しい町として、訪ずれるこれらの人々に、はずかしくない美しい町づくりは今からしていかなければなりません。

戸田町では、オリンピックのため、婦人会がごみかごを設置したところ、心ない人々のために、無残に破かいされ、なくなったものも多数あると聞いています。

市民のみなさん、一人一人の心がけで、路上や街頭にごみを散らかさないよう、このごみかごを十分ご利用いただき、そしてこのかごをかわいがり大切にしようではありませんか。毎週二回程度（特別な地域は除く）市の清掃車が、かごのごみ集めをすることになっています。

今回は一応モデルケースとして配備したものですから、今後必要に応じ、逐次配備し、あらゆる方面からまちの美化清掃に万全を期していきたいと思いますので、みなさんのご協力をお願いします。なお容器は次のように設置してあります。

【設置場所及数】
▽川越駅構内（五）▽川越市駅（一）▽本川越駅（三）▽中央公民館（一）▽市民会館（一）▽喜多院（二）▽蓮馨寺（二）▽不動尊（二）▽氷川神社（一）▽神明町バス停（一）▽東明寺前〃（一）▽札の辻〃（一）▽市役所〃（二）▽元町郵便局前〃（一）▽埼銀前〃（一）▽仲町交さ点〃（一）▽蓮馨寺前〃（一）▽大手町〃（一）▽市ノ屋台（一）▽佐久間旅館前〃（一）▽本川越駅前（二）計三十四。

国体マークは利用できます

国体マークは許可をうけて、商品、商業広告、宣伝等、商業上の目的に利用することができます。今までの国体でも各商品、包装紙、その他いろいろのものに使用されています。

このマークは商標法によって日本体育協会が所有しているものですから、使用する人は、第22回国民体育大会埼玉県実行委員会会長に、使用許可申請書を提出し、許可をうけなければなりません。許可がおりたら、商品の見本を三部県実行委員会事務局に提出してください。また、このマークを商業上の販売に使用する人は、使用料を県実行委員会に納めなければなりません。くわしいことは、川越市国体事務局におたずねください。

声

道路掘り返しのあと始末

街中の道路を掘り返したため各商店各家庭ともほこりで困っています。いつ頃舗装されるのでしょうか。（一市民）

【おこたえ】

十月三十一日付消印による投書にお応えいたします。なお住所氏名の明記があるものについては、直接詳細におこたえしていますのでさしつかえない限り、はっきりお書きくださるようお願いします。

お申し越しの道路掘り返しについて……市道については私設、上、下水道工事、ガス管工事等の工事あとで、市民のみなさんに大変ご迷惑をおかけしていますが、この工事は随所不定期に施工されていて、舗装部分の復旧については、市でそのつど、できるかぎり早期復旧につとめています。

今後掘さくされるものを除き十二月中旬までには完了する計画です。

また国道の舗装工事については県に照会いたしましたところ次のような完成予定になっています。

▽国道仲町地内＝電話線の工事完了次第実施。
▽〃　貴原町地内＝四十年一月中旬。
▽〃　岸町地内＝十二月下旬。

（土木課）

貯蓄

生活の裏うちを

師走（しわす）のある家庭で、妻「あなた、よわったわ子どもたちの着る物がみんな小さいので上着だけ新調しようと思っていたら下着からそっくり買わなければならないし、まだ使えると思っていた石油ストーブがこわれているし、そのほか、考えてもいなかった買物もあるし、ことしもあなたと、わたしの物は何も買えないわ」夫「僕のサラリーは、まあまあのわけだが、どうして我が家は赤字経済なのかなあ…」

さあ…みなさんのお家は如何ですか?!

わたくしたちは、つい日常生活になれ、計画的な生活はしにくいものです。

人生は、出生にはじまり、就学就職、結婚、家庭の建設、老後と長い途のりと起伏があるわけです老後に悔いを残さないためにも生活設計をたて、日々充実した生活を営みたいものです。

生け花は、目にはきれいですが根がなく、肥料も与えられないために短期間で枯れてしまいます。これと同じように如何にりっぱな生活設計でも裏打ちのない計画は生活設計とはなりません。

貯蓄目標額となりました。

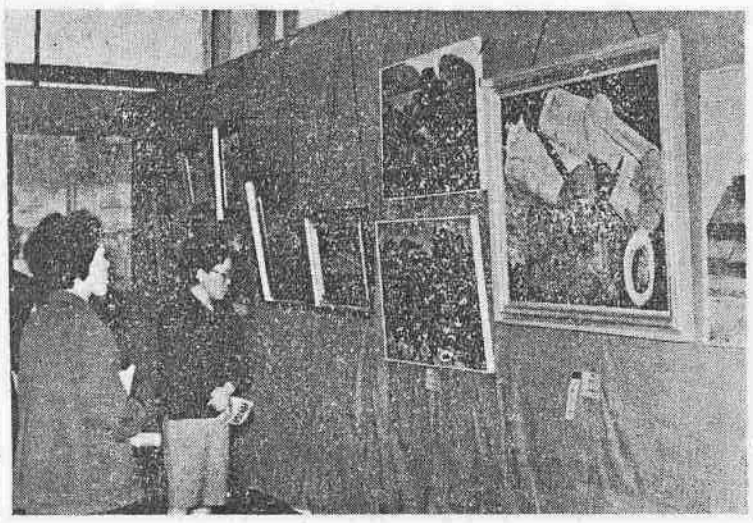
国家的に見ますと、現在の我国は資本蓄積が不足し、資金難の為め外国からの借入れによって補っていますが、従前は、自己資本七〇％借入資本三〇％であったものが今は自己資本二〇～三〇％借入資本が八〇～七〇％で非常に不健全な経済状態であり、こうした結果として諸物価の値上がりを招くなど私達庶民にも強い影響が現れています。

これ等を解消するものは、私達の貯蓄された資金が国家経済の支えとなるのです。

貯蓄によって家庭が明るくなったなどの話しを聞くことがありますが、たしかに日々の生活に誠実に生きる両親を見て、子供は何を考えるでしょう。強い信頼と尊敬心それとよい習慣が心の中に貯蓄されるでしょう。

川越市美術展

11月5日から7日まで、第14回川越市美術展が市民会館で開かれました。出品は、日本画、洋画、彫そ、工芸、書道、写真、華道の六部、273点で、知事賞は六軒町2丁目の町田敏子さん（はり絵）が受賞しました。



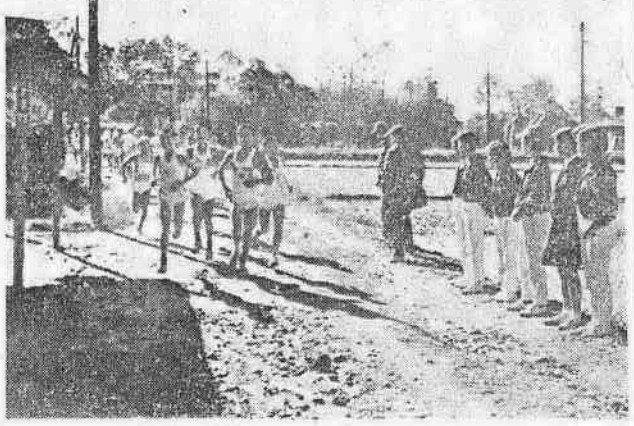
スポットライト

敬老会

本庁管内の敬老会が11月6日、市民会館で開催されました。綾部祐雅さんら75才以上のお年寄り966名に記念品が、また喜寿、米寿、90才以上の方には、ちゃんちゃんこや菓子器座ぶとんなどが贈られました。

小・中学校音楽祭

市内小・中学校音楽祭が、11月11、12日の2日間市民会館で行なわれました。日ごろ練習をつんだ合唱、器楽合奏、木琴独奏など、美しい曲を聞き合いました。参加校は小学校16校、中学校12校でした。



中学校ロードレース

第11回市内中学校ロードレースが11月27日、参加12校、36人で争われました。コースは第1中学校を出発する3000メートルで、成績は次のとおりです。1位第1中、2位福原中、3位第一中。

ねずみ駆除はこうして

人間の生活の上に……衛生上、経済上、そして精神的な面まで、大きな被害を与えている「ねずみ」このねずみを一せいに駆除するために下記の期間をねずみ駆除月間としています。この期間中、できるだけたくさんのねずみをとって、市役所衛生課又はもよりの出張所へ、ねずみの尾をご持参ください。粗品をさしあげます。次にねずみ駆除のあれこれをおしらせしました。まちぐるみでねずみをしめ出しましょう。

◆期間＝12月1日～41年2月28日

◆食物を与えないこと

食器類は、ねずみの入らない戸棚等に入れ、米びつはなるべく金属製にしてフタを完全にする。

害鼠以外の餌になるようなものをできるだけ放置しないように。

◆害鼠を誘く場所

一般家庭では、台所、ゴミ入れ、下水等ねずみが餌を食べにくる場所を中心に、はじめは広い範囲に餌場をつくり、数日後、食べた場所を重点的にねらう。

◎ねずみは通路の上に餌を置かれると警戒心を起して食べないので、ねずみの通路から二〇～三〇センチはなれた所やねずみの穴に板を立てかけ、その裏側（穴に近い方）に誘く、その際そうじしたり、器物を動かさないようにします。

◆毒餌の置き方

ねずみは夜間は静止し夜間活動する動物で、前夜半と夜明け前に活動の山があり、そのため毒餌は夜仕掛けて、朝調べて取り除くことです。

毒餌の量は、殺しもれの防止のために、余るように仕掛け、食べてある場所は増量します。

ねずみは、いつもと異った物があると警戒するが、時がたつに従って新しい環境になれます。すぐに食べなくても根気よく待つことです。

人間はもちろん、家畜に危害のないよう、毒餌の取り扱い、仕掛け場所には十分注意すること。

◆毒餌を置く場所の変更

毒餌を置く場所を変更する場合には、今までの餌場は、そのまま続け、新たに餌場をふやす。期間の途中でやたらと餌場を変更しないことです。

◆死んだねずみの処置

死んだねずみには病原菌があり、ダニ、ノミ等体外寄生虫がいますから、素手でつかむようなことはさけ、新聞紙などで被うようにして取り扱い、直接手をふれないようにしましょう。これらの死んだねずみは焼却するか、深く穴を掘って土中に埋め、死んだねずみを取り扱った後は、手洗い、消毒をしましょう。

◆毒餌取り扱い上の注意

毒餌に人の体臭がつくとねずみが食べないことがあるため、取り扱いには、さじはしを使うこと。

誤って食べた場合にはすみやかに医師の手当を受けること。特に幼児のいる家庭では間違いのないよう十分注意したいものです。

ねずみは非常に繁殖力が強く、しかも隣接家屋にまたがって行動するものですから、地域社会全体が組織的に実施することが何よりです。

みんなでたくさんとりましょう。

年末の計画を

○…クリスマスを終るとあと六日で新年を迎えます。仕事の能率をあげるためにも計画を立てて手順よくすませ、すっきりした気分で新年を迎えましょう。

そこで、二十五、六日から年末までの計画のポイントを次にかかげてみました。実施の順序は皆さん各自でお考えください▽すすはらい▽しめなわ、かどまつ▽おせち料理、正月用食器類の点検、正月用食品の買入れ▽年賀状の出しもれ、表札はわかりよいか▽貸し借りの整理▽正月用衣類の整理▽のみ過ぎ、食べ過ぎ、かぜなどの家庭薬の用意▽国旗の準備。

米質改善に奨励品種を

＝雑品種が市内に八十種類

農家のページ

近年における稲作は国民生活の向上から良質米が要求される一方、農業労働力の不足から生産の合理化、近代化を急務としています。

そこで、このような諸情勢に対処して、米穀の品質改善、生産の増大をはかるため、水稲、県奨励品種の統一普及を推進し、本県産米の声価を高めるとともに、農家経済の安定をはかることが必要となるわけです。

農家のみなさんには、特に次のことをお願いいたします。

▽雑品種の整理

現在、市内に約八十の品種が作付されていますが、生産が不安定のものが多いので、県奨励品種に切りかえる。

▽地域重点品種の統一

県奨励品種は、うるち＝八、もち＝二、の計十品種が指定されています。その作付比率は、八七・八％ですが、この中でも特に地域に適した重点品種に統一する。

川越市は、中部荒川地帯で、早生種、トネワセ、中生種、タマヨド、オクマサリ、晩生種、日本晴、ヤマビコ、中生新千本もち種、埼玉もち十号が重点品種です。

▽種子更新の徹底

良質米を生産し、生産量をふやすためには、県指定採種ほ産種子を使用する。

種子の申し込みは予約制ですから、翌々年分を計画的に農協へ申し込み、更新をはかってください。

六才になった　岸町「むつみ会」

岸町の老人クラブ、「むつみ会」（会長、宮岡米子さん）が十一月二十七日、満六年目を迎え、長田寺で元気に例会をひらきました。

この会は、昭和三十四年十一月、もと民生委員の宮岡さんの提唱で結成され、以来毎月一回の例会をもち、講演会や踊り、年一回の旅行など、多彩な催しを行なってきました。

この日は、健康で過して来たしるしとして、全員で記念撮影し、歌や踊り、話し合いなど楽しいひとときをすごしました。

「不良児を出さないためにはおばあさんの導きが大切」という趣旨で結成されただけあって町内の若い人たちからも好評を得ているようです。（会員五十六人。）【写真はむつみ会員】

好評だった川農祭

産業教育八十年を記念して、恒例の「川農祭」が十一月二十七、八日の二日間、川越農業高校で開かれました。

会場は、保健部、生活芸術部写真部、農業クラブ、農業土木クラブ、家庭クラブなど、三十部門に亘る、グラフや作品の展示があり、熱心な説明により来場者の関心を集めていました。

なかでも、名物のそ菜の即売は、新鮮さと安価で、飛ぶように売れていました。【写真は川農祭】

（読書感想文一等）

「秀吉と利久」を読んで

西小仙波町1－18－2　川村松野　55　主婦

茶道の宗家千家では、興祖千利久の忌日三月二十八日に忌を修し盛大な茶会を催すと聞く。茶道に関する本を読むと、点前の順序、心得等については、くわしく知ることができるけれど、私はその奥にあるものが知りたかった。

現在の茶道とくらべて利久の茶道とはどんなものかを知りたかった。また故あって死を賜わったの「故あって」を色々な角度からくわしく知りたいと思い続けていた。

テレビの「太閤記」が始まり、時々お茶の場面がでてくるので、その時には目をこらしてみつめてしまう。ちょうど十月初めに中央公論社版「日本の文学」の「野上弥生子集」が本屋から届いたのでかねての望みが達せられると思い「秀吉と利久」を早速読み始めた。これは昭和三十七年に「中央公論」に発表になり、三十九年に第三回女流文学賞を受けた作品であることは知っていたが、時間をかけて味読する機会を待っていたのである。

少年与四郎から千の宗易となり利久となっての長い年月、茶道一途の精進を怠らず、初めに仕えた信長の死により、かわって秀吉の茶頭をつとめた利久である。妙喜庵の待庵は今までの茶座敷を二畳に圧縮し、狭いにじり口から入り粗らあらしい土で壁を塗って、調和美を全うし、また一方では茶室全部が黄金ずくめで、ふくさも金襴を用いて茶会を催したという。

彼の草庵露地の侘び茶の理念が金ぴかの茶室ではどう生かされたであろうか。利久にとっては、そのいずれの茶室においても侘び茶を味うのに徹することができたのである。

秀吉が聚楽第内に利久屋敷を作り、その一郭だけは寺院めいて寂寞とし、室内は唐紙の山水の絵の他に装飾らしいものは何もなかった。その茶室不審菴は簡素な枝折戸や、真清水のつくばい等、素朴な田舎家のようであったので、秀吉には村童時代を思い起させ、茶事を通じて二人は素直な親愛を感じたらしい。

この作者のせん細流麗な筆致は天下一の茶頭者の利久の点前を目の前に彷彿させてくれる。彼が茶の用意をするとき、炭をついだり釜に水をみたしたりする動作は、活きいきと美しく、関白様を待つために用意しているのでもなければ、三千石の禄に屈しているのでもなく、彼のみが作りだせる調和と秩序の小宇宙を作っているのである。

茶席に名器、名物が飾られていても、一切があってないものにし客も主人も三昧境に浸り得られるのでなければ、本当の茶事ではないとしている。また利久は出仕の暇をみつけては茶杓を削ったり、柄杓をこしらえたり、新釜の切型を作ったりもする。鉄や土や竹で作られたものであっても、彼がその中に座っているだけで、これらの物は質を超えてそこにあるようになる。茶筅をあてている利久自らが茶筅であり、茶わんであり炉であり、釜であり、忘我の世界となる。

秀吉の弟の秀長に所望されて利久が茶をたてるときに、順次に運びだされた道具までが、その所望をきいて各々がはたす役割を心得ているので、利久はただその手に茶杓を触れさえすれば、茶は茶わんの底からほろ苦く、甘く、匂やかく若葉色に盛りあがる。茶の方がひとりでにたつのである。

全文の中のどの箇所を読んでも不審庵の「桜の井戸」の二丈近い深さの底から汲みあげる清らかな水のように尽きない味わいのある文章は読みあきず、うかがい知ることのできない境地に踏み入った心地で読みふけってしまった。

その利久と秀吉、師匠と弟子とがお互いに信頼、敬意を抱き、傾倒していたにもかかわらず、優れた者同志が時にカチリと白刃を鳴り合わせることもあったらしい。

このことが後に利久がもらした「唐御陣は明智討ちのようにはまいらぬ」という言葉が秀吉の耳に入り「不屈者め、面も見たくない。地獄のどん底に矢せろ」と叫ばしめたのである。大徳寺の三門に安置した利久の木像も秀吉の逆気にふれ、三門から引きおろされ、聚楽第の戻橋に近い空地に、がらくたのごとく放棄されてしまった

お互いになくてはならぬものでありながら、秀吉の照り曇りの激しさに、利久もお城勤めの味気なさが身に泌み、時にはもう沢山だと思うこともあって、秀吉の憎しみを受けてしまったのであろう。利久が切腹の座についたとき、冷えびえとした青畳に半眼の黒瞳で端座したところは、茶室での姿そのままに、しゃっきりとして美しかった。彼が今日まで作りあげたものは、秀吉のためばかりでなく彼自身のものである。利久亡きあと数寄屋の小障子一枚でも彼がそこに生きていることを秀吉は思い知らされ、そして彼から何ひとつ奪い取ることはできなかったを悟ったにちがいない。利久の静かな死顔は自信と誇りに満ちていたのではなかったろうか。

「秀吉と利久」の中からあまりにも多くのことを教えられた私は読後幾日も幾日も利久対秀吉のことばかり考えていた。十月二十九日野上弥生子氏の文化功労賞受賞の報を聞いて、私は直接お目にかかってお祝いを申し上げたい気持になった。同じ作者の名篇「迷路」といい、「秀吉と利久」といい読むだけでも大変なのに、その克明な描写には全く頭のさがる思いである。八十才になられた野上弥生子氏のますますご健康であらんことを切望して筆をおく。

読書感想文入選者

読書週間の記念行事として募集いたしました読書感想文の入選者は次のとおり決定しました。

▽一等一名、「秀吉と利久を読んで」川村松野（西小仙波町）

▽二等二名、「食わず嫌い」加島一子（幸町）、「読書あれこれ」馬場章子（今成町）

▽三等三名、「心の栄養」長沢清子（東田町）、「価値ある読書と実生活を」村田よしえ（石原町）「忙しさの中での読書の味」新井タカ子（並木）

▽佳作五名、大野喜代（郭町）、植松よし子（松江町）、村瀬あや（仙波町）、田口はま子（菅原町）、黒沢みさほ（砂新田）

要保護世帯に理髪の半額奉仕

県理容環境衛生同業組合川越支部（西野梅吉支部長）組合員では歳末たすけあい運動の一環として市内の要保護世帯の皆さんに、理髪の半額奉仕を行ないます。

該当世帯には半額券をおくばりしますが、不足の場合等は福祉事務所へご請求ください。期間は、十二月二十五日までです。

自衛官募集

▽資格　18才以上25才未満の日本男子

▽試験＝学科、口述、身体検査

▽身体検査合格基準

身長一五五センチ以上、胸囲、体重は身体に相応するもの、視力〇・六以上

▽給料＝初任給は、ことしの九月にさかのぼって、一四、一〇〇円になる予定です

▽応募票＝庶務課にあります。

郵便貯金は働きもの

みなさんからおあずかりしている郵便貯金は．全国でいま約2兆4千億円にもなりました。この大きなお金は．国の事業や重要な産業のほか．県や市町村の公共的な事業に融資されて．みなさんの生活向上に大きな役割を果しています。川越市にも住宅や学校建設などに融資され．市の発展に大きな力となっています。郵便局の定額貯金は半年ごとに利子が利子を生み．6か月たてばいつでも自由に払いもどせます（川越郵便局から）

十一月三久保町公民館俳句会

小林 あき
街路樹の黄落葉肩にハムを買う
矢島 政子
山茶花や少年院は門閉ざす
岸 とみ
コスモスや待つ間に香る山の駅
岸 昭夫
町の子が来て遊んでる刈田かな
伊藤さだめ
山茶花や残せし亡姉の日記出づ
小林すみ子
何事もなくて疎遠に秋暮るる
坂井とよ子
庭掃くや南天の実の日々紅き
賀田 徳子
小春日や蝿一匹が音たてて
本橋美津子
狗尾も野路に実りて秋深し
中島 きん
山茶花や吾子通学の径古りし
福原 静江
山茶花や遠き想いの晴小袖
勝浦 白舟
山茶花や患者別れを繰り返し
岡村 静枝
竹垣にもたれて赤し冬のばら
茂木さだ江
訪へば既に山茶花散り初めし
福田 益子
行く水の紅葉模様のごとのせて
樋口 春江
蔵置きて秋陽ゆたかに大老舗
笹川八枝子
他人の子抱けば掌にある茶の実の香
笹川伊佐緒
闘病や林檎の皮のベットに落つ
吉田 清
病棟の静かに昏れて秋の月
吉田 百
稲刈りの娘泥田に鎌光る
松本 寛寿
秋風のままになびきてアドバルン
小林 三清
風光る一つの星は凍て易し
佐藤 美舟
秋耕や既に小川の底乾く

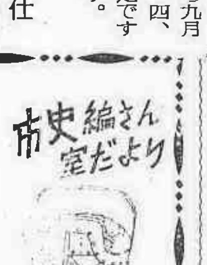
【埼玉国体】モットー

清新　健康　協力

たばこは市内で買いましょう

◎市内でたばこを買っていただくと、その一部が市の収入になります。

市史編さん室だより



武士団とその館阯

十二世紀の後半は日本歴史の上まれに見る激動の時代であった。保元平治の内乱にはじまるこの半世紀に古代律令制国家は衰え、新興の武士階級が政権を樹立するという政治上、社会上大変革が行われたのである。そしてこの武家政治の確立に支柱となったのが、武相の武士団でその中核をなしたのが関東八平氏と武蔵七党とよばれる武士団である。市内及び附近に起ったうち前者は河越、畠山、江戸、高坂等氏であり、後者に属するのが仙波、難波田、広谷、吉田、青木、須黒、浅羽、高麗氏等である。この他系図不明のものに古尾谷、柏原、女影がある。

河越氏の館阯は上戸の常楽寺附近である。

南北約二二〇米東西約二〇〇米の短形で典型的な中世初期の館阯の形態を残している西側の土塁は完全に原形をとどめ、北側と東側はある程度は残り、南方が道路のため破壊されていることは鎌倉の古道にも近く西方近くには河越氏の氏神たる日吉山王社とも現存しその西側には三日市場の地名もある点河越氏ゆかりの地と推定される理由である。古谷氏の館阯は詳らかではないが、古谷氏の後継者とみられる件氏の館阯は古谷上の善仲寺及びその周囲にあるここは東西二五〇米、南北一五〇米でやや曲折はあるが土塁及び濠もよく残り輪郭は比較的はっきりしている。北側は濠も一段と深く二重濠で、中世の中、末期に増築した形態が見られるが堂々たるものである。仙波氏の館阯は堀の内といわれている仙波の長徳寺と伝えられているが遺構は現存していない。下広谷の大堀山といわれる山林中にあるのは何者の館阯であるかは不明であるが立派で大規模なものである。ここも東西二〇〇米南北一五〇米あり、土塁も深い濠も昔の面影をよく残している以上はいづれも実測ずみであるが下広谷にはこの近くにあと三ケ所あり、いづれもその遺構が分明である。

その外市内数ケ所に堀の内という地名の残っているところはいづれも中世の館のあった所である。川越市が古都から大東京の衛星都市として成長することは喜ばしいが、天下に勇名を馳せた武蔵武士の館阯が、いや祖先の残した文化遺産が宅地造成のためその美しい姿を消してゆくのは誠に惜しいことである。